

1 1月13日協働のまちづくり推進本部幹事会での指摘事項への対応 ～第2次草津市協働のまちづくり推進計画について～

1. 現計画を5年運用して市民意識調査が望ましい結果になっていない項目があるが、第2次計画の骨格を変更すべきではないのか。

結果) 更なる協働を推進していくことが求められるため、各主体においてそれぞれの特性を活かして協働のまちづくりを推進するという骨格は変えず、協働のまちづくりの現状の部分に市民の意識の変化等を追記するとともに、活動指標を今後の目標に設定します。

(計画本編 P 5、P 6、P 17 参照)

2. (仮称)お互いさまプロジェクトについて、どこで何をするのか文章で説明すべき。

結果) 説明文章の中で、「(仮称)市民総合交流センターでは、行政や中間支援組織が中心となり」を追記しました。

(計画本編 P 10 参照)

3. 「強いリーダー1人より、100人の小さな力がつながる地域のほうが、持続可能な地域となっていくます。」の文章は、計画にあえて記載すべき内容ではない。

結果) 文中から該当部分を削除しました。

(計画本編 P 9 参照)

4. 行政側も積極的に現場に出るというスキルアップの仕組みが必要である。「今後の協働のまちづくりの展開」の4つ目の施策に記載しても良いのではないのか。

結果) 職員の人材育成について追記しました。

(計画本編 P 12、P 13 参照)

5. その他の修正

- ・新規事業を、市の具体的施策に追加

(計画本編 P 25、P 26 参照)

- ・現計画の総括について、市民の意識の変化等の追加

(計画本編 P 6 参照)